

# 中小企業景況調査報告

(第4四半期)

2021年10月～12月期実績

2022年1月～3月期予測

2021年度当福山北商工会は、中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定を受けました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

## 1.調査要領

### (1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、令和2年度版統計ふくやまによると1,294社であり、内訳は建設業157件 製造業267件、小売・サービス業その他870件である。

### (2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

\*製造業3社、建設業2社、小売業4社、サービス業6社

### (3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

### (4) 調査機関

2022年1月～3月期実施

### (5) 調査時点

2022年3月1日

### (6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50 - 20 = (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

## 2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）\*DI値のみ

業種	今期の状況 (2022年1月～3月)		次期の見通し (2022年4月～6月)
	前年同期 (2021年1月～3月)に比べて	前期 (2021年10月～12月)に比べて	次期 (2022年1月～3月)に比べて 来期の見通し
製造業	±0	±0	±0
建設業	▲50	±0	±0
小売業	±0	±0	±0
サービス業	▲16.7	±0	±0

**製造業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 3 社

項目	状況	今期の状況 (2022年1月～3月)		次期の見通し (2022年4月～6月)
		前年同期 (2021年1月～3月)に比べて	前期 (2021年10月～12月)に比べて	次期 (2022年1月～3月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	3	3	3
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上 (加工)額	増加	3	2	/
	不変	0	1	
	減少	0	0	
	D・I	100	66.7	
売上 (加工)単価	増加	3	2	/
	不変	0	1	
	減少	0	0	
	D・I	100	66.7	
売上 (加工)数量	増加	3	2	/
	不変	0	1	
	減少	0	0	
	D・I	100	66.7	
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	3	3	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
原材料 仕入単価	上昇	3	/	/
	不変	0		
	低下	0		
	D・I	100		
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	3		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

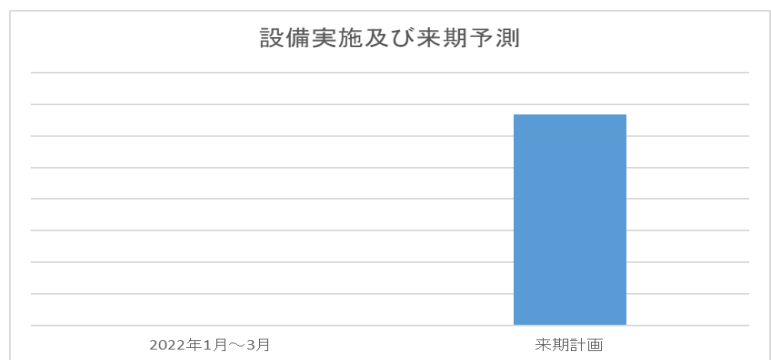
【今期実施内容】

実施無し。

【来期計画内容】

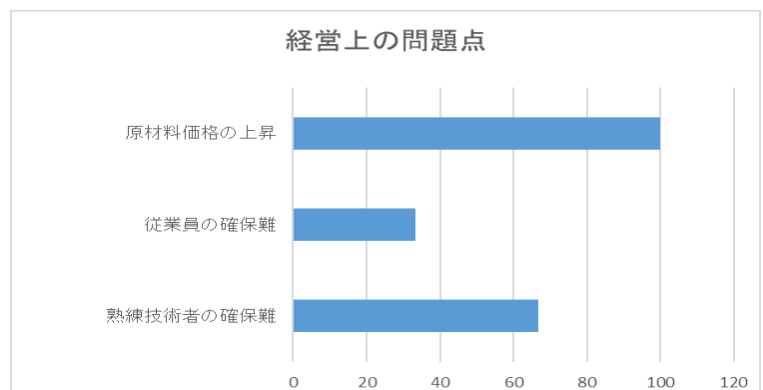
回答 3 事業所の内、2 事業所が計画。

内訳：生産設備、OA 機器、車両、付帯施設等



○今期の経営上の問題点

今期は、「原材料価格の上昇」や「熟練技術者の確保難」などの意見を多くいただいた。





**小 売 業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数4社

項目	状況	今期の状況 (2022年1月～3月)		次期の見通し (2022年4月～6月)
		前年同期 (2021年1月～3月)に比べて	前期 (2021年10月～12月)に比べて	次期 (2022年1月～3月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	4	4	4
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上額	増加	1	1	/
	不変	3	3	
	減少	0	0	
	D・I	25.0	25.0	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	4	4	
	低下	0	0	
	D・I	±0	±0	
商品仕入単価	上昇	2	/	/
	不変	2		
	低下	0		
	D・I	50.0		
商品仕入額	増加	2	/	/
	不変	2		
	減少	0		
	D・I	50.0		
商品在庫数量	増加	0	/	/
	不変	4		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	4	4	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	4		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答4事業所の内、実施は無し。

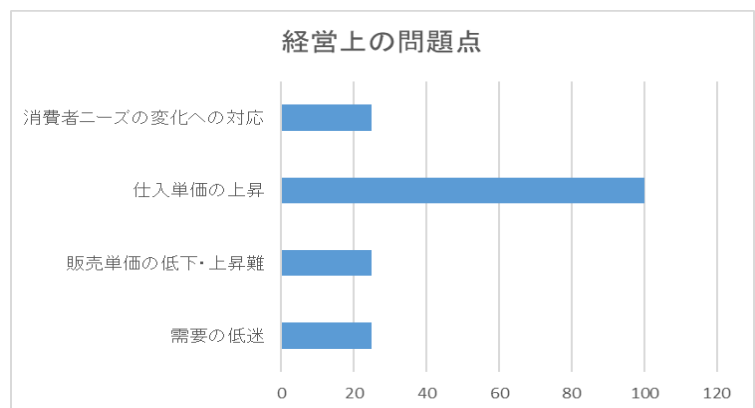
【来期計画内容】

回答4事業所の内、計画は無し。



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、「仕入単価の上昇」など意見を多くいただいた。



**サービス業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数6社

項目	状況	今期の状況 (2022年1月～3月)		次期の見通し (2022年4月～6月)
		前年同期 (2021年1月～3月)に比べて	前期 (2021年10月～12月)に比べて	次期 (2022年1月～3月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	6	6
	悪化	1	0	0
	D・I	▲16.7	±0	±0
売上(収入)額	増加	3	3	/
	不変	2	2	
	減少	1	1	
	D・I	33.4	33.4	
客単価	上昇	1	1	/
	不変	4	4	
	低下	1	1	
	D・I	±0	±0	
仕入単価(材料等)	上昇	6	/	/
	不変	0		
	低下	0		
	D・I	100.0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	6	6	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	5		
	悪化	1		
	D・I	▲16.7		

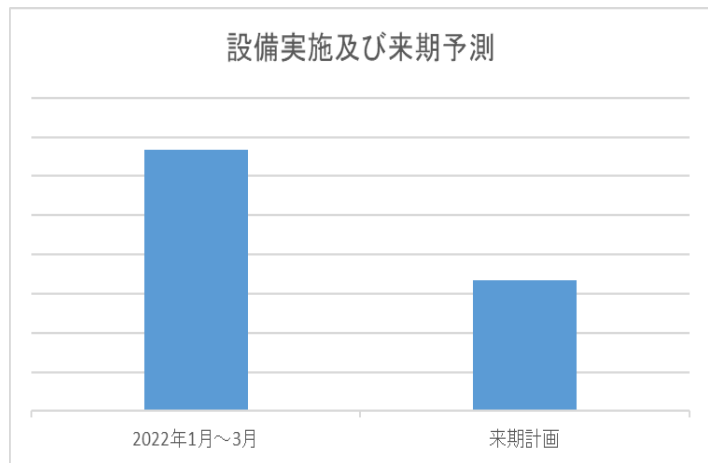
○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答6事業所の内、2事業所が実施。  
内訳：サービス設備、OA機器、車両等

【来期計画内容】

回答6事業所の内、1事業所が実施予定。  
内訳：サービス設備



○今期の経営上の問題点

今回は「材料等仕入単価の上昇」が多く続いて、「人件費以外の経費の増加」回答など意見をいただいた。

